

と呼ばれる技術を応用して同社独自に開発した界面活性剤フリー化粧品について、その肌への低刺激性に起因する肌荒れ改善作用を確認し、先月開催された日本皮膚科学会中部支部学術大会で発表した。

同大で三相乳化技術開発プロジェクトを進めて

容機能などを報告している福岡大学医学部皮膚科の中山樹一郎教授らの共同研究で確認したものの。界面活性剤で製造した化粧品に比べ、肌荒れの早い回復が確認された理由としては、肌への刺激の少ないことが示唆されたという。

三相乳化技術を化粧品

また、同技術の概要については、ナノ粒子の物理的な作用(ファンデルワールス力)によって乳化する新技術であり、化粧品では一般的に利用されている界面活性剤を使用することなく大量の

抗カルボニル化作用も  
フラバンジエノールに抗糖化作用

(株)東洋新薬(福岡市博多区)の独自素材「フラバンジエノール」に、抗糖化作用およびカルボニル化作用が新たに確認された。

先ごろ開催された第64回日本生物工学会大会に

おいて同社が発表したもので、抗糖化作用の強さの指標として用いられるAGEs(最終糖化産物)産生阻害剤アミノグアニジンよりも強い抗糖化作用が確認されたほか、カルボニル化タンパク質の

生成を用量依存的に抑制することが認められたという。

カルボニル化とは、体内にあるタンパク質に過酸化脂質が結合することで、タンパク質本来の機能が失われる現象。糖化反応によっても生じるといわれ、糖化現象と同様に、肌老化の要因にもなるとされる。

健康食品受託製造および原料販売の補完医療製薬(株)(大阪市中央区)では、ギリシャ・ヒオス島産のマスティック100%粉末の供給を開始する。オーラルケア機能や胃潰瘍の改善作用で知られる素材だが、これまで日本国内では、原料供給はほとんど行われていなかったとみられる。

500g単位から供給していく計画で、粉末の性状を活かし、ハードカプセルや錠剤、顆粒、チュアブルタブレットをはじめアムやガムなど幅広い最終製品への配合提案を進めたい考え。

マスティックは、ギリシャのヒオス島のみに生息するともいわれるウルシ科植物。その樹液を原料とした天然素材は食用ガムなどとしても用いられており、機能性としては、歯周病や口臭の予防などといったオーラルケア作用のほか、ピロリ菌を殺菌したり、胃潰瘍



# 腸内細菌を整え明るく生きる

「生きていく上でのモットーは①正しい食事②腸内細菌を整える③明るく生きるように努め、精神的ストレスに強くなることです」

70歳になった今でも明朗快活な語り口の福井社長は、この3点が大事だと話し、実践している。

「また、生きるためには移動も欠かせませんが、そのために運動などで体の調子を整えることも必要です」

## 福井 正勝

(株)ピーアンドエス・コーポレーション 代表取締役社長



土、日曜日にも仕事の講演会などで全国各地を飛び回る合間を縫って、月に4〜5回はゴルフで体を動かす。

「ゴルフ場は地面が柔らかいので歩くのに力がいりませんし、アップダウンもあるので結構な運動になります。歩数も多くなりますし、以前万歩計を付けて歩いたら18ホールプレーして1万4000歩も歩いていました」

そのゴルフの腕前は相

当なもの。

「最近のスコアは85前後ですが、最高スコアはイーブンパーの72です。得意なショットはドライバードで、今でも230ヤードぐらいは飛びます」

趣味の読書は仕事に關係するものが多い。

「生命の不思議さを語るような本が好きです。最近では、東京医科歯科大学名誉教授のカイチュウ博士と呼ばれている藤田紘一郎氏の『脳は

バカ、腸はかしこい』にハマっています。脳で食欲を感じて食べたのも、腸が必要としなくても、腸がやるそうなんです。食べたいと思ったものは、腸に相談してみると良いみたいですよ」

今の仕事は天職だとい

「学生の頃から生命の不思議さに強い関心を持っていたので、生命と密接に関わる健康の仕事に携われて感謝しています。乳酸菌生成エキスで腸内環境を整え、多くの人の健康に貢献するのが理想です」

(ふくい・まさかつ) 1942年1月12日生まれ、70歳。東京都出身。神奈川大学工学部卒業後、乳酸菌共棲培養分泌物を研究していた叔父の故・正垣一義氏のもとに身を寄せ、同研究に携わる。84年には物心科学生活研究会を設立。04年には社名をピーアンドエス・コーポレーションに変更し、代表取締役社長に就任。現在、同分「乳酸菌生成エキス」と名付け、自社商品で販売。身長176センチ、体重72キログラム。

### 新たな抗メタボ

トレハロース

(株)林原(岡山市北区)は10月25日、「第16回トレハロースシンポジウム」を東京ビッグサイト会議棟で開催し、トレハロースの新たな抗メタボリックシンドローム作用を発表した。

同社では、これまで通常のマウスに高脂肪食と同時にトレハロースを飲水摂取させることで、腸内環境を整え、多くの人の健康に貢献する